

富士河口湖町立 教育センターだより

No.10

平成30年8月24日

文責 渡辺 富美夫



発見！ 私たちの郷土 (郷土学習会)

7月27日(金)、町内の小中学校に新転入された先生方や希望者を対象に、郷土学習会を行いました。文化財係の杉本悠樹さんを中心講師にお迎えし、富士河口湖町の文化や歴史、自然について学び

ました。世界文化遺産の富士山構成資産も巡り、それぞれの資産価値についても詳しく知ることもできました。豊かな自然に感動するとともに、古の人々のスケールの大きさ、たくましく生き抜いてきた足跡を随所で発見！感心させられることしきりでした。

「富士河口湖町の土地の性質や、風土、それらの歴史など、様々なことを学ぶことができました。富士山を中心にとらえてみると見学した場所1つ1つの富士山との関係も見えてきておもしろかったです。」「1日の学習会を通して、地域のことを学ぶのはもち

ろん、活用できる施設や資料、関係機関のことがわかり、子どもたちのためにも活かしていきたいと思いました。」など、富士河口湖町の素晴らしい財産を、今後の教育活動全般に活かしていく工夫をしたいという感想が多数寄せられました。

富士山、富士河口湖町のことなら

地域には学習素材がいっぱい



河口浅間神社

フィールドセンター



溶岩樹型



この部屋に

“Let's Try”, さよなら「失敗したら恥ずかしい」外国語学習研修会

町教育センターと富士吉田市立教育研修所の共催で、外国語活動研修会が7月23日(月)行われました。研修テーマは、「効果的なチームティーチング・小学校外国語科授業実践」で、(株)ボーダーリンクの協力を得て、①チームティーチングについて、②模擬授業、③授業実践、④小学校における読み書き活動という内容で進められました。①～③では、模擬授業をもとに、小グループに分かれ、担任・ALT・児童の役割分担で授業実践を行ない、ALTと担任の役割やALTの活用場面などを学びました。

「担任とALTの関係(主と副、立ち位置など)やどのようにALTを活用していけばいいかがわかる研修でした。」「授業を実際に行ったことが、とても勉強になりました。いつも外国語の授業は子どもと一緒にいるのですがあくまでも「私は子ども(側)だった」と今日痛感しました。」「小学校でどんな教材を使い、どんな授業をされているのかよくわかりました。小・中をどうつなげていくのか今後の課題であると思います。(小中連携も大事)」などの感想がありました。

2学期スタート

とても暑い日が続いた夏休みも終わり、2学期が始まりました。9月は、小学校は運動会、中学校は学園祭と大きな行事があります。子ども達は、行事を成功させようと目いっぱい頑張り、精神的成長も著しいものがあります。私たちは、活躍の大小ではなく、子どもたちの生き生きとしている姿を見てあげ、成長を喜び合いたいものです。しかし、ともすると大きな行事の後には、やる気が出ず、目標を失い、進むべき道に迷っているような言動がみられることもあります。また、夏休み明けの生活リズムの切り替えがうまくいかず、登校を渋る様子がみられることもあります。そんな子どもたちの言動を見逃さないようにしたいものです。